

昭和 28 年創刊

教育 学 術 新 聞

教育部 九段文
千代田区 小田急
25 行 03(3261)7048
4 編 集 03(3261)0769
TEL FAX

震災 関連 特別号

私立大学 災害対策に多面的支援活動

三月十一日に発生した大震災によって東北地方を中心に、地震、津波、原子力発電所事故という未曾有の大きな被害を受けた。震災発生直後から、日本私立大学団体連合会（会長＝清家 篤慶）議長、日本私立大学連盟、日本私立大学協会、日本私立大学振興協会の三団体で構成した「私立大学災害対策特別委員会」等私学団体は、文部科学省との情報の一元化を期し、災害対策の情報収集

私立大学災害対策特別委の発足

同連合会と私立短大協会は、東日本大震災の被害の惨状が徐々に明らかになり始めた四月、全国の私立大学・短期大学が合同で、被災地の学校の復興に向けた支援・対策活動について、具体的な考え方、支援・対策の内容やその進め方を協議するための「私立大学災害対策特別委員会」を設置した。

原賠審ヒアリングで窮状訴える

第七回原子力損害賠償紛争審査会では、「風評被害」や精神的被害の学校現場の状況について、教育関係者からの意見聴取が行われた。

私立大学 21世紀委の10の提言

同連合会は、六月、「教育立国」日本の再構築を目標とし、二十一世紀社会の持続的発展を支える私立大学」と題する提言書を

教育振興基本計画部会に意見具申

七月八日に開かれた、今後五年間に取り組みべき施策を定める「第Ⅱ期教育振興基本計画特別部会」において、主にこの



地震で倒壊した福島学院大学の校舎

余の学生が実家の損壊あるいは保護者の収入の途絶のために経済的支援が必要になることが明らかになり、二年間にわたる大幅な学費減免を行うことなどを決めている。これらの震災直後以降の多岐にわたる苦渋の対応を語った上で、「経済的な打撃が大きい被災地域からの学生が多い本学としては、今後の学生募集が最大の課題」と語った。

私立大学等各団体の活発な支援活動

仙台学長会議（代表＝星宮 望）東北学院大学長、宮城県内の国公立の大学・短期大学二〇校で組

私立学校関係の被害状況（人的・物的被害）

*死亡・負傷は被災した場所、行方不明は在籍している学校等の場所

人的被害 都道府県	単位：人 死亡	負傷	物的被害 都道府県	単位：校
岩手県	17	18	北海道	3
宮城県	94	14	青森県	18
福島県	10	11	岩手県	67
栃木県		4	宮城県	221
群馬県		4	秋田県	1
埼玉県		2	福島県	161
千葉県		3	茨城県	223
東京都	2	68	栃木県	74
神奈川県		3	群馬県	51
			埼玉県	117
			千葉県	142
			東京都	250
			神奈川県	68
			新潟県	12
			山梨県	5
			長野県	2
			静岡県	12
			和歌山県	1
計	123	127	合計	1428
合計	250		大学	156
短大	3		短大	34

文部科学省：東日本大震災による被害情報について（第142報）7月25日現在



被災地の総合的復興計画を立案する。被災した学生等に対する多額の奨学金支出や授業料減免及び学生数の減少などによる学納金の大幅減少という間接的な被害が、今後表面化することが予想される。



災害対策本部

加えて、我が国は、この度の大災害がなくとも大きな曲がり角にきており、グローバル化に対応できる人材育成が十分であったとは言えない。その意味で、全く新しい制度の設計を含めた教育制度の抜本的整備を復興構想の中で実現することが必要である」としている。



退学八一人、休学三四一人、留學生のうち約四〇人が戻っていない、▽今年度入学者約三〇〇〇人のうち、一〇〇人余が原発事故後に辞退、▽避難地域の実家からの通学生約五〇人と避難地域に実家を持つ下宿生約一七〇人は、原発事故による疎開者となり、長期的な生活支援が必要であることなど、厳しい現実を訴えた。

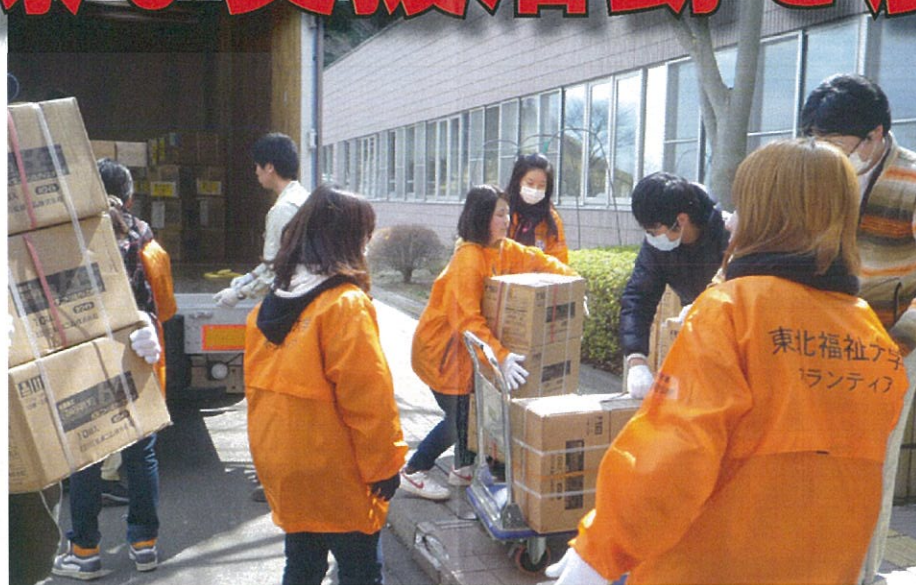
く原動力として国民の大多数が必要に応じて学ぶ新しい高等教育システムの構築と計画的環境整備の推進

多様な支援活動を展開



震災当日、新宿にあふれた帰宅困難者を受け入れた工学院大学

全国各地の私大から



被災地・仙台では東北福祉大学が、「復興！ 東日本」を合い言葉に、全学一丸になって、被災地の支援に当たった

被災地でのボランティア



昭和大学が被災地の避難所に医療チームを派遣、医療活動に当たった



石川県の金沢工業大学では、いち早く被災地に救援物資を送った



名古屋の椋山女学園大学等、多くの大学の有志が被災地から離れた場所でもできる支援活動として、写真洗浄を行っている



被災地・千葉県旭市では、危機管理学部を擁する千葉科学大学が、教職員・学生消防隊を派遣し活動に当たった



長野県から松本大学の学生ボランティアが被災地に駆け付けた



静岡県の富士常葉大学の学生が、早朝から街頭で義援金の募金を呼びかけた



愛知県の中部大学では、キャンパス内等で被災地への義援金を募った



神奈川大学の学生は、横浜ベイスターズの選手と共同で街頭募金を行う等して、義援金を被災地におくった



千葉県の淑徳大学は、ボランティアセンターが中心となって被災者への炊き出しを行った



福岡県の福岡歯科大学は歯科医師らを派遣し、避難所での口腔ケアを行った